



No. **93**  
平成26年5月発行

# おたま



元気いっぱいの入園式（玉井幼稚園）

<b>3月定例会開催</b> .....		2～4面
一般質問	<b>ここが聞きたい 8人が登壇</b> .....	5～12面
議員発議	「要支援者への予防給付を市町村事業とすること」「一定以上の所得のある人の利用料を2割に引き上げること」を取り下げることについての意見書 ...	13面
<b>臨時議会開催</b> .....		13面

# 70億4,790万円

## 3月定例会開催

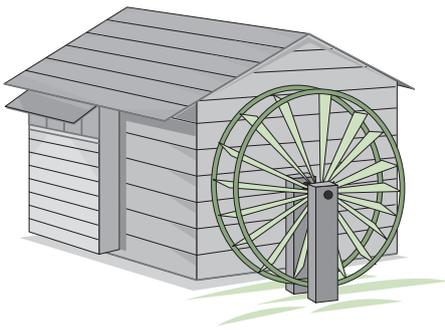
線量低減化活動に  
要する経費  
7億7,137万円



災害公営住宅整備・  
管理に要する経費  
18億5,405万円



※ ( ) 対前年度当初予算



総務費 19億871万円 (39億3,297万円減)

- 公設民営化調査費 60万円
- 震災からの農工商復興活性化事業費 316万円
- 小水力発電導入費 170万円

民生費 10億3,915万円 (456万円増)

- 臨時福祉給付金事業費 3,610万円
- 障がい者総合支援法に要する経費 1億4,108万円
- 子育て世帯臨時特例給付金 1,558万円
- 児童手当支給事業費 1億5,577万円



衛生費 4億2,944万円 (2,347万円増)

- 原発事故関連健康管理事業費 683万円
- 再生可能エネルギー利用促進事業費 8,988万円
- 安達地方広域行政組合清掃費負担金 1億4,507万円

労働費 2,781万円 (487万円増)

- 緊急雇用創出基金事業費 2,766万円

農林水産業費 3億3,716万円 (6,366万円増)

- 産業振興センターの管理運営費 1,786万円
- ふくしま森林再生事業委託料 5,725万円

3月定例会は、3日から14日までの12日間の会期で開かれました。  
内容は、条例関係9件、平成25年度補正予算9件、平成26年度当初予算9件、人事案件2件、  
変更契約1件、議員発議2件、報告1件が審議されました。  
また、一般質問では、8人の議員が登壇しました。

# 26年度 当初予算

## 一般会計

予算編成の

### ○ 基本方針 ○

- 原発事故からの一刻も早い脱却
- 公共交通体系や公設民営化
- 再生可能エネルギー導入
- 県内外交流事業などへの積極的取組
- 定住人口増加のための諸施策
- 富岡町被災者のための  
災害公営住宅の整備

### 子どもの遊び場確保のための 屋内運動場整備事業

(子ども元気復活交付金事業)

**4億3,427万円**



### 教育費 4億4,707万円 (260万円減)

- 人権教育総合推進に要する経費 99万円
- 学校施設の芝生化事業費 1,298万円
- 図書管理運用に要する経費 110万円

### 災害復旧費 1,839万円 (1,633万円増)

- 幼稚園、小・中学校グラウンド覆土工事費用 1,830万円

### 公債費 3億2,869万円 (2,525万円減)

#### 特別会計及び企業会計

※ ( ) 対前年度当初予算

- 国民健康保険特別会計 8億5,090万円 (889万円増)
- 玉井財産区特別会計 436万円 増減なし
- アットホームおおたま特別会計 1億601万円 (275万円減)
- 農業集落排水事業特別会計 1億801万円 (144万円増)
- 土地取得特別会計 1,567万円 (74万円増)
- 大玉村介護保険特別会計 (保険事業勘定) 6億8,563万円 (2,572万円増)
- (介護サービス事業勘定) 130万円 増減なし
- 後期高齢者医療特別会計 6,252万円 (91万円増)
- 水道事業会計 (営業関係) 1億4,031万円 (111万円増)
- (工事関係) 7,897万円 (1,028万円増)

### 商工費 4,163万円 (281万円減)

- 観光・物産 PR 実行委員会運営補助金 200万円
- グリーンツーリズム推進費 45万円



「大玉村復興のつどい」で初披露された新生「たまちゃん」(大玉村観光キャラクター)

### 土木費 22億1,019万円 (19億780万円増)

- 道路ストック総点検事業委託料 450万円
- 道路新設改良費 2億1,952万円

### 消防費 1億4,915万円 (44万円減)

- 安達地方広域行政組合消防費負担金 1億611万円
- 小型動力ポンプ付積載車購入費 800万円

## 条例関係

- 大玉村社会体育施設に関する条例の一部改正  
高齢者の健康づくりや小中学生・高校生の体力向上を図るための料金改定。また村内村外の利用料金を一本化し、村外からの利用者の拡大を図る。
- 大玉村妊婦健康診査の実施に関する条例の一部改正  
妊婦健診を県外で受診した費用の村負担金額を、県内妊婦健診実施医療機関との契約金額を上限とすることとして、公費負担額の公平を図る。  
また、妊婦精密健康診査費用も同様に定める。

## その他の条例等関係

- 大玉村特別導入事業基金条例の廃止
- 大玉村高齢者等肉用牛導入事業基金条例の廃止
- 大玉村ふれあい農園条例の廃止
- 大玉村ふれあい広場設置条例の一部改正
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 職員の給与に関する条例の一部改正
- 大玉村行政財産使用料条例の一部改正
- 平成25年度大玉村太陽光発電設備等設置工事（保健センターほか）請負変更契約
- 平成26年度安達地方土地開発公社予算等についての報告

## 25年度 補正予算

年度末における村税や国県支出金の収納、交付見込み額や事務事業の確定等に伴う予算の調整を図った。

### ◇一般会計

15億75万円減額

#### 主なもの

線量低減化活動に要する経費	13億9524万円減
農業関係除染対策等に要する経費	2901万円減
小学校等の遊具更新費用消費税増額分	100万円増
堆肥センター運用費	148万円増
有害狩猟鳥獣捕獲報償金	40万円増
ふくしま森林再生事業委託料	822万円増
除雪委託料	300万円増

### ◇特別会計

国民健康保険特別会計	3706万円増
玉井財産区特別会計	1万円増
アットホームおおたまた特別会計	13万円増
農業集落排水事業特別会計	568万円減
土地取得特別会計	536万円増
介護保険特別会計（保険事業勘定）	97万円増
後期高齢者医療特別会計	40万円増
水道事業会計（営業関係）	47万円増

## 人事案件

### ●副村長に武田正男氏

複雑多様化する行政需要に的確・迅速に対応できる人材として、武田正男氏（玉井字町）を人格・識見ともに適任者であると認め、副村長選任について同意した。

任期は、平成30年3月31日までの4年間。

### ●区長の委嘱

各行政区から区長に推薦された方への、区長委嘱について同意した。

任期は、平成28年3月31日までの2年間。



# 一般質問

ここが聞きたい 8人が登壇



押山義則議員

# 公的機関それぞれの職員・嘱託・臨時職員の労働環境の実態、労働対価の整合性！

押山…行財政改革という名の下で、職員数の削減が求められ、嘱託、臨時といった形で、住民への行政サービスが担われている現状、さらに復興対応などで、過度の残業とか、ストレスのかかる業務形態が感じられるが、実情は。

押山…直売所所長、土曜に出勤のない勤務体制、責任者の所在がはっきりしない状況、出荷会員が戸惑っております。職責を明確に。  
農政課長…あだたらの里直売所所長として、25年4月から位置づけをしております。6次化に向けた、加工品・研究会の結成・直売所の品質管理の徹底・計画出荷などの業務・施設の拡充を目的に配置しております。



利用料金が改定され、利用拡大が期待される村民プール

押山…プール所長、配置されました。最も忙しい土曜出勤されません。どうということでしょうか。  
村長…所長を置いて、プール活性化、利用者の増を期待しての配置であります。指摘の状態、改善を図ってまいります。

押山…26年度施政方針の中で、新しい事業として、共育サポート事業の明記がありました。学校支援地域本部の事業と重なる学習の場を支援する体制づくり、前々から児童、生徒の学力向上のための学習塾のようなシステムづくりの設置を望んでおりました。会津の日新館のような、人材育成の場としての拡大を期待しております。具体的な整備内容を。

## 共育サポート事業について



放課後子ども教室のひとつ

教育長…子どもたちの学力を含めた生活力の育成を補充することを目的とした事業です。具体的には、県内の大学などと連携し、教員を志す学生を講師として、子どもたちが学ぶ場において学生も学ぶ、教員も学ぶという

た共育の考えの下、夏季休業中の児童、生徒の学習サポート、3泊4日の学習合宿、さらに2学期に、土曜午後の学習会の実施など、学習機会の拡充を図るといった事業です。

### 他に次の質問がありました。

- 農業施策、大玉村農業の経営安定強化策を伺う
- 除染事業について伺う

## 自主財源の確保と再生エネルギーについて



佐原吉太郎議員

**佐原**…自主財源確保には企業誘致住宅団地の拡大などが一般的であり自主財源を確保するには若い職員の発想が必要であり、また村民が一体となり財源確保の目標を高く設定することにより、目的に取り組むことが定住化政策や高齢化社会に対応する財源が確保できると思う。これらについて。

**村長**…人口増加対策、定住政策が大玉村に適した方策と考える。雇用創出の面では企業誘致も必要と思うが、事前に工業団地を設置して企業が来るのを待つのは厳しいと思う。政策決定については、従来だと決まった組織で物事を検討してきたが、目的に合わせて検討メンバーを決め政策を進めていく。



太陽光発電が設置された包括支援センター

**佐原**…3月11日を風化させることなく再生エネルギーを拡大することが被ばく県民としての義務である。さらに再生エネルギーを拡大するには、ドイツに視察に行き再生エネルギーに取り組むことが、原子力に頼らず安全なエネルギーを確保することが我々の義務であり、また法人などをつくって拡大を図ることも視野に入れるべきと思うがこれらについて。

**村長**…前村長が村の業者を優先するということがあったが、村外の業者を入札したことにより、村民に対し大きなダメージを与えたことは行政にとつて好ましいことではなく、今後入札についてはこのようなことのない方法でお願いしたい。また一人の業者に2億円という多額の落札をさせ村内の業者であればこのようなトラブルはなかったのではないかと。これらについて。

## 除染のこと



着々と進められる除染事業

**村長**…村内の事業者に除染業務を担っていただく方針は原発事故で冷え込んだ地域経済の再生にとつて必要な事であったと判断する。また入札の方法についても規定に基づいて行われたものだが、今回様々な問題が生

じてしまった。今後は今回の教訓を踏まえてより詳しく調査しながら発注を進めたい。今回発生したトラブルについては村民の意向を十分尊重して対応していきたい。

# 避難されているみなさんと 共同を進める方策は



武田悦子議員

**武田**…原発事故により避難生活を送っている方は事故から3年が過ぎても13万人を超えている。村内にも借り上げ住宅や新たに住居を求めるなど生活の再建を始めている方も多い、26年度中には富岡町の復興公営住宅も整備される。みなさんとの関係作りをどのように進めていくのか。

**企画財政課長**…昨年から復興庁・県主催によるコミュニティ研究会ができており、より良いコミュニティの確保に向けて検討している。また、大玉村の応急仮設住宅でのコミュニティは行政・ボラ

ンティアとも良好な関係が形成されており、県のモデルケースにしたいという話を受けている。

**武田**…今後公営住宅等ができれば行政サービスの内容も変わってくるのではないかと、防災・生活環境や様々な施設サービスなど大玉村のサービスを受けることが当然と思うが、交付税等での支援な

ど財政的な面ではどうなるのか。

**企画財政課長**…ごみや防災の問題などいろいろあるが、財政的には避難されている方一人当たり、4万2千円を受け入れ先の自治体での行政サービスに使えるような形で、25年度から特別交付税措置をするという指示を受けている。



さくらで行われている避難されている方たちのサロン

## 公設民営化への道筋を どうつけるのか

**武田**…村長は就任以来、公設民営化、村民株式会社を表明されているが、民営化の対象とする事業は何か。

**村長**…アットホーム、堆肥センター、直売所、プール・テニスコートの4カ所を考えている。

**武田**…アットホームや直売所を民営化するメリットは何か。

**村長**…アットホームで言えば、条例で利用料金などが規定されていることで不自由な経営となつていく。民営化することでもう少し自由度が上がる経営、柔軟な対応ができるかと考える。

**武田**…26年度の予算の受け皿についての調査費が計上されているが現時点で描いている受け皿はどういうものか。

**村長**…現在は村内に受け皿となる会社・組織がない。村民から出資を募つた株式会社を現時点では最適と考える。26年度一年をかけて検討していきたい。

**武田**…これまで村民の健康の保持や手取り収入の確保などを目的に事業が行われてきた。民営化となつてもこの視点を大切にしたい。

**村長**…その視点は変わらない。



公設民営化が検討されるアットホームおおたま

他に次の質問がありました。

・大玉村の農業振興の方策について



須藤軍蔵議員

## 小高倉周辺の生活環境改善について

須藤…畜産農場に起因するハエ、悪臭、カラスによる種々の害など地域の方々は長きにわたり被害を被り続けている。村もこの間、手立ても講じて

いる。しかし、現状を極論すれば、なにも進んでいない。

これまでの延長線ではなく、より実情に沿った改善への取り組みを伺う。

村長…家畜衛生保健所に加え、新たに国の機関である畜産環境研究機構からの指導も受けながら、臭い、ハエの問題に取り組んでいきたい。

須藤…村で言う混住場所ですから企業と住民が共生する、業者の営業は守られる、当然だ。



環境改善が待たれる養鶏場

しからは被害を受けている村民はどうなるのか。

村長…村としては当然村民を優先する。住民に支障のないように経営を改善していただく。

須藤…カラスの大群による農作物の被害も大きい。減らすため専門家などに調査や対策を依頼してはどうか。

村長…野鳥の会や大学の方の意見を聞きながら効果的対策について探求していきたい。

## 「オール福島」の声を大きく

須藤…原発事故から3年、事故は収束どころか、日々問題の連続で、県民の命と健康、大地と海が脅かされ続けている。国は「ベース」電源だとして原発再稼働に躍起になっている。

県内10基廃炉、汚染水対策は国の責任での声は、県をはじめほとんど市町村議会の声、オール福島の声である。福島で生じていることに真正面に向き合わないで、「福島島の復興なくして日本の復興なし」と国はいつも言う。しかしそれは、枕ことばに過ぎない。東電と国にしっかりと責任を果たせるべく、求めていくべき。

村長の所見を伺う。

村長…事故から3年だが事故は収束していない、収束宣言そのものもまやかしかである。学校で除染したのも3年で運び出せるとしていたはずだが、中間貯蔵施設の場所すら合意に至っていない状況だ。避難者にとつても生活基盤が定まらず、帰れるのか帰れないのかも分

からない状況が続いている。国・東電は何の責任も果たしていない。何より心配するのは事故の再発である。大きな地震が来たり津波が来たりして再爆発の危険性も考えられる。

あらゆる機会をとらえ要望活動・要求活動をしていきたい。



3月25日 国への要望活動（安達地方3市村長と根本復興大臣）  
「原子力災害からの復旧・復興対策等について」要望書提出

# 教育委員会制度改革について

**佐藤**…国は今国会において教育委員会の制度改革をするとの方針を示した。教育長と教育委員長を統合して代表教育員（仮称 任期は2年）また首長の下に学校の設置と廃止や教職員の定数を決める、総合教育施策会議（仮称）を設けるとのこと、村長の考えを伺う。

**村長**…教育委員会制度改革の趣旨は、子どもの問題に対して、対応が遅い、不十分だというのが発端でありますが、全国の教育委員会の中で、一部の機能不全に陥った組

織をもって、全国の教育委員会が駄目だと言わんばかりの今回の改正については、教育長を経験した者として、疑問を持たざるを得ないと考えております。



佐藤誠一議員



玉井小学校入学式

# 平成26年度村政執行基本方針について

**佐藤**…重点事項について次の質問を伺う。放射能除去事業について線量毎時0・23マイクロシーベルト以下の地区でも除染をしていくのか、いつ終了するのか。  
**住民生活課長**…0・23マイクロシーベルトと1ミリという単位であり、ほぼ大玉村全域が、0・23を超えており、今後とも除染

を続けてまいります。なお、住宅については、26年度中に終わらせたい目標で、進めております。  
**佐藤**…6次産業化について、具体的な方向性を伺う。

**農政課長**…準備委員会、加工部会・外食部会・直売部の3つの担当分野を決め、検討いただいております。公設民営組織で、スタートさせたいといった視点から現在進めております。  
**佐藤**…屋内運動場について、基本計画について



改築される屋内運動場

説明を求めます。  
**企画財政課長**…子ども元氣復活交付金事業として、改善センター屋内運動場の改築が基本です。床面積1200平方メートル程度、フットサル、テニスなどで使用でき、また壁面利用のクライミングなど、子どもたちの健康増進、体力向上に向けて、さらにゲートボールにも利用可能な施設拡充を図ってまいります。  
総事業費、4億3千万円程度と考えております。



鈴木康広議員

## ふるさと納税について

**鈴木**…ふるさと納税とは、**企画財政課長**…税金などの地域間格差を是正する方法のひとつとして、自分を育ててくれた故郷や居住している地域に貢献したいとの思いから生まれた。

**鈴木**…今回の制度の変更点とその目的は、**企画財政課長**…制度上の変更点は特になく、現在年間で10件前後、寄付金



額で150万円から200万円を頂いております。目的として、この素晴らしい大玉村を知っていただき、居住していただければ一番良いわけですから、良さをアピールする機会として活用する。寄付金に対し半額程度を返戻品として、大玉村の特産品などをお届けする。そのメニュー作りから新たな地域づくりや仕事づくりに期待ができる。さらにインターネットな

らを通じ大玉村を積極的にアピールしていく。**鈴木**…ひとつのプランを成功させるには、目的に合った対象の選択や、実行方法の工夫が必要と考えるがどのように想定しているか。

**企画財政課長**…今までは関東あだたらの会など大玉村にゆかりのある方が中心でありました。しかし、村特産品の販売会を新宿で行った際に全く縁もゆかりもない方から善意のご寄附を頂くことがありました。対象を多方向・不特定の方に広げることが大玉村のPRになると考えます。現在若い職員の中でプロジェクトチームを編成して試案づくりを進めております。

## 村執行基本方針からコミュニティ・スクールと地域教育力の向上について

**鈴木**…基本方針の学校と地域の信頼関係を深める具体策は何か。

**教育長**…コミュニティ・

スクール導入から3年目を迎えます。地域ボランティアの学習支援や環境整備、学校行事支援など24年度実績で延べ540件ほどの活動が行われております。多くの地域の方々が学校活動に関わることで、学校への理解が深まっています。

**鈴木**…コミュニティ・スクールの事業費はどのように変化しているか。

**教育総務課長**…26年の当初予算ベースで、前年と比較して42万円程度減額となります。ただし、これは調査研究会議の設置と協議を行う国の補助金などが終了することのため、事業内容の縮小を

表すものではございません。必要な経費は予算化されています。

**鈴木**…補助金が終了することで事業を縮小すること



大玉村幼少中一貫カリキュラム授業研究会 (5・6年生算数合同授業)

とがないようお願いいたします。これを補助事業の制限が無くなったと考え、積極的にいろいろな取り組みをする機会としていただきたい。大玉村の教育の独自性はどのようなものと考えるか。

**教育長**…村内の幼小中全の学校が大玉学園として一体で活動・協議していること。これには高い教育効果が期待できる。また新たな取り組みとして

**鈴木**…5年10年の長いスパンで考える上で、大玉村の教育で必要なことはなにか伺う。

**村長**…目先のことに捕らわれない。今の取り組みを実質化して各々の連携を強化すること。今の路線をぜひ進めて充実させていただきたい。

他に次の質問がありました。

・豪雪時の除雪などについて

# 豪雪被害が本村にもたらした 状況と今後の対策について

鈴木：今回の大雪は、国道・県道・村道・生活道路も完全にマヒし、村民生活に大きな影響をもたらした。これらの除雪状況について伺う。

**建設課長**：先に山間部を除雪し、平野部で積雪が20cmを超えたために、幹線道路の除雪へと切り替えた。

**鈴木**：緊急避難所・救急車両・消火栓や防火水槽といった安全対策に、どう対応されたか伺う。

**住民生活課長**：15日の午前中に、各分団屯所前の除雪など消防車両がすぐに出られるよう指示した。

**鈴木**：水道やごみ収集、一人暮らしや老々世帯と



鈴木宇一議員



雪によるパイプハウスの農業被害

いった弱者への対応はどうなされたか伺う。

**住民生活課長**：豪雪のために車両が行けない。ごみがそのまま残るなど問題が発生した。

**健康福祉課長**：災害の発生時には電話で安否確認を行っております。また除雪が困難な高齢者宅は、地域の協力や健康福祉課職員で除雪を行った。

**鈴木**：家屋被害、パイプハウスなどの農業被害、これらの撤去費用、再建対策にどう取り組まれるか伺う。

**鈴木**：豪雪災害を教訓に村民の生活を守る体制、組織のあり方に、今後どう取り組まれるか伺う。

**建設課長**：納屋の破損が一件で50万程度。被害の総額は除雪費用も含め2500万円から3500万円くらいです。

**農政課長**：パイプハウスの資材不足については、安達管内の農政部長会議でJAなどに納入体制づくりを要請。また、補助事業は国が50%、県及び市町村で安達管内で統一した上乘せを実施したい。

**鈴木**：豪雪災害を教訓に村民の生活を守る体制、組織のあり方に、今後どう取り組まれるか伺う。

# 富岡町の災害公営住宅と大玉村の今後の方針について

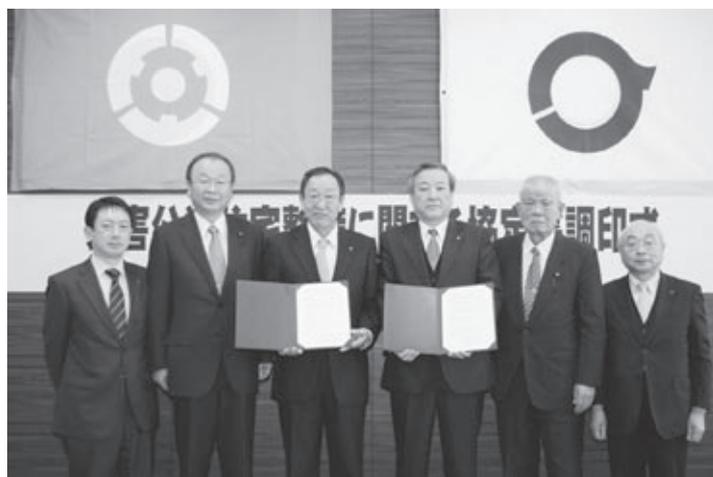
などについて、また県の基本協定の内容について伺う。

**企画財政課長**：事業規模は横堀平地内の村有地の2から2・5haが住宅用地で戸数は65世帯、67戸を予定。事業費は2カ年度の総事業費が18億8000万円程度と算出。整備期間は27年3月までの計画です。県との協定については去る2月21日に、基本協定書を締結いたしました。県は工事完成後直ちに村に引き渡し、所有権および維持管理は村に帰属する。

**鈴木**：東日本大震災、原発事故から3年が経過し、避難者の仮設住宅での生活は極限に達していると思います。早期に災害公営住宅の着工、完成を加速し、少しでも安住を取り戻していただきたいと思えます。そこで、事業主体、事業規模（面積・戸数・予算・期間）

**住民生活課長**：新たに生活道路の除雪推進協議会をつくり、住民の方への協力要請や農業機械の確保など大雪に備えたい。

**鈴木**：建築には、県産材使用や村内建築・土木・電機・設備業者の参入は村活性化のためにもぜひ必要と考えるが、当局の方針について伺う。



災害公営住宅整備に関する協定書調印式

**住民生活課長**：受注の機会均等のため、村内の工務店や設備会社などに、受注の機会があるように、県に強く要望していく。

**鈴木**：運営・維持・管理方法について、財務会計のあり方、また土地・建物・物件の将来の構想について伺う。

**村長**：1日でも早く避難者の方に安定した生活をしていただくことが最優先であります。会計などは特別会計も含め検討し、遺漏無きように進めたい。



遠藤文一議員

## バイオマスタウン構想について

**遠藤**…平成19年7月農水省の進めるバイオマスタウン構想を作成公表し、全国101市町村の仲間入りをされました。そこで現在の取り組みと実情その成果について伺う。

**村長**…現在、家畜糞尿については大部分が堆肥化、木質系の利用については、ペレットストーブや薪ボイラーでの活用などを推進、廃食油のバイオ

エタノールを公民館の公用車にその燃料を使用しておりますが、現状では、熱や発電などのエネルギー源としての活用は進んでおらず、普及拡大にはまだまだである。

**遠藤**…本村バイオマスタウン構想に、当時木質系バイオマスの利活用についても記載されておりまして、この点に着目したことは高く評価します。政府エネルギー基本計画案でも、木質バイオマスは「地域活性化に資するエネルギー源」と評価しております。そこで本村でも、木質バイオマスエネルギー、森林資源の積極



バイオエタノール利用の公用車

的利活用の取り組みを求めますが、村長の見解を伺う。

**村長**…原発の問題で、設置の条件が難しくなっている現状から、一村でバイオマス発電所に取り組みむより、安達管内、県北とか広域で取り組みれば可能性はあると考えるが、今の汚染状況では、なかなか住民の理解は得られないと考える。今後の方向性として、バイオマスに限らず、太陽光なども含めた新しい再生可能エネルギーの利用拡大に向けた協議会で、全体的に取り組みを進めていきたい。

## 大玉村耐震改修促進計画について

**遠藤**…平成20年3月計画書の中で、特定建築物で耐震診断を行っていない4棟とは、どこの施設で現在の状況を伺う。

**企画財政課長**…一つ目は玉井小校舎、二つ目は大山小校舎、三つ目は大山小体育館、四つ目は大玉中体育館で、それぞれ耐震改修、解体建て替えを行っている。

**遠藤**…防災上重要建築物で、2棟耐震診断を行っていない、その施設と現在の状況。

**企画財政課長**…大玉村役場の庁舎は、耐震、耐力調査を22年3月・11月に実施、24年度に改修、大山公民館は22年3月に耐震診断したが、現在未改修である。

**遠藤**…県は耐震性能を4つのランクに判定している。役場庁舎の判定ランクを伺う。

**企画財政課長**…耐力度調査で3・075という結果でABC Dの中でC若しくはDという判断をし

ている。

**遠藤**…その判定ランクの、構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性（耐震性能）を伺う。

**企画財政課長**…耐震改修において軸ブレースの追加更新、さらに水平ブレース、いろいろな破断部

分の更新、耐震天井にしたことなどを踏まえ、前回程度の地震にも対応できると考える。

**遠藤**…阪神淡路大震災時、無傷に見えた建築物でも、鉄骨などの破断が確認されたとのこと、本村役場庁舎についての認識を伺う。



未改修の大山公民館

**企画財政課長**…先の診断結果、今回の震度5強の地震においても、ほとんど損傷がなかったことなどを踏まえ、さらにその後の改修の実施で十分とは言えないが、大丈夫であると判断している。

### 他に次の質問がありました。

- ・農業集落排水処理施設、浄化センターについて
- ・災害復興住宅について
- ・県教育委員会事業対応について

議員発議

意見書を提出

「要支援者への予防給付を市町村事業とすること」「一定以上の所得のある人の利用料を2割に引き上げること」を取り下げることについての意見書

現在国においては、介護保険制度の根幹に関わる見直し案が検討され、今通常国会への提出を予定していると聞き及んでいる。中でも「要支援者を介護保険制度の給付対象からはずし、市町村の支援事業に委ねる」との案は、介護保険制度の理念を壊しかねない制度の変更であり、市町村の財政上、事務上の負担も軽視できないものと考えられる。

厚生労働省は、昨年11月14日に開催した社会保障審議会介護保険部会に「予防給付のうち市町村事業に移すのは訪問介護、通所介護のみとし、訪問看護や訪問リハビリなどは予防給付として継続すること」を提案したが、訪問介護と通所介護

は予防給付の89・6%にあたり、要支援外の本質は変わっていない。よって、国においては、次の事項について実現されるよう強く要望する。

- 1 「要支援者を介護保険制度の給付対象から外し、市町村の支援事業に委ねる」ことを取り下げること。
- 2 「一定以上の所得がある人の利用料を2割に引き上げる」ことを取り下げること。

提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 総務大臣
- 厚生労働大臣

請願・陳情一覧表

● 3月定例会に提出された請願

件名	提出者	付託委員会	審査結果
村道弓谷地一大畑線歩道設置に関する請願書	大玉村大山字前田7-0 大玉12区 区長 松本 吉彦 他26名	産業厚生	採 択

● 3月定例会に提出された陳情

件名	提出者	付託委員会	審査結果
要支援者への予防給付を市町村事業とすること等についての意見書提出に関する陳情書	福島市渡利字渡利町9-6 公益社団法人 認知症の人と家族の会 福島県支部 代表世話人 佐藤 和子 他1名	産業厚生	採 択
地域コミュニティ施設の設置に関する陳情書について	大玉村玉井字下谷地1番地 大玉1区 区長 武田栄一郎 他2名	総務文教	採 択

臨時議会開催

第3回

4月17日開催

第1回

1月29日開催

- 大玉村税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認
- 平成25年度大玉村学校施設等遊具購入に係る物品売買変更契約

3月31日  
2月の豪雪災害被害の農業用パイプハウスの復旧補助金（12棟の撤去および復旧費用）1875万円増

3月31日  
2月の豪雪災害被害の農業用パイプハウスの復旧補助金（12棟の撤去および復旧費用）1325万円増

- 25年度一般会計補正予算専決処分
- 26年度一般会計補正予算

- 職員の給与に関する条例の一部改正
- 大玉村道路占用料徴収条例の一部改正
- 大玉村水道事業給水条例の一部改正
- 平成25年度大玉村一般会計補正予算

- 大玉村部設置条例の制定  
多様化・複雑化する住民サービスや行政課題に対応するため、行政組織機構の改革を行う。
- 大玉村学校施設等遊具購入に係る物品売買契約の締結  
福島定住等緊急支援交付金事業で、幼稚園や小学校などの既存遊具の撤去と同規格の遊具40基の設置をするもの。

# 村民の声



## 第2回おおたま村そば祭り実行委員長



鈴木 正雄さん

大玉のそば祭りも第2回となり、大勢の人に来ていただき大成功でした。

大玉村には4つの団体のそば会があります。あだたらそば生産組合・大玉じんだら会・大地の恵東きずな塾・おおたまスポーツクラブそばサークルであり、それぞれの会で、そばを楽しんでいますが、これを自分たちだけで良いのか、本物の美味しいそばをより多くの人たちに味わってもらいたく、村の後援もあり、東日本大震災から村を元気にするために何かできないかと話が持ち上が

り、このそば祭りが始まりました。新村長のキャッチフレーズの小さいからこそ輝く大玉村とありました。大玉らしく、大玉らしさ、大玉らしく、大玉流のそば祭りをしようではないかと皆で話し合い、そば祭りが始まりました。大玉村のものでやるうではないか、材料も人も。また大玉村に演歌歌手福内とも子さん、三条摩耶さんもおおり、お願いをしたところ快く受けてくれ、ステージショーが会場を盛り上げ、とても賑やかだったとのこと。これも大玉村民はもとより、近隣市町村からもたくさんの方に応援をしていただき、心より感謝しております。また自



そば祭りの舞台裏

分事ですが、本番の当日はインフルエンザBに罹り、初めてタミフルの味を味わい、出席できなく、とても残念でした。スタッフの皆さん方には、とても迷惑を掛け、誠に申し訳なく残念でなりませんでした。最近私も学校支援ボランティアに登録し、大玉中学校の物作り体験、大玉小学校・幼稚園、玉井小学校・幼稚園の庭木の手入れ、大山幼稚園の餅つき大会と、ボランティアをしております。これから先も、健康の限りボランティアを続けたいと思います。

### ＝ 表紙の写真 ＝

4月8日に行われた玉井幼稚園入園式です。元気いっぱいお返事もできました。



### 編集後記

早いもので東日本大震災、原発事故から3年が過ぎた。村では、他に先駆けた積極的な除染と健康管理、米の全袋検査などを実施し、復興に努めている現況だが、風評被害を含めてまだ道半ばである。

本年度も復興関係の施策が重点的に予算の内容に組み込まれた。効率的な運用で、復興が加速するようお願いしたいものである。また東電の廃炉特に汚染水の問題など、不安のない処理の道筋をつけてほしいと考える。

一方でいよいよ4月からは消費税値上げが実施された。景気の動向が心配されるが、議会も知恵を絞り、創意工夫した景気対策で乗り切っていきたいものである。

村政を知るよい機会です。お気軽に傍聴してみませんか？

次の議会は **6** 月です

議会傍聴は、住所と名前を記入するだけです。役場2階の「傍聴人控室」においてください。

問い合わせ先…議会事務局 TEL.24-8103

### 議会広報編集特別委員

- 委員長 ● 武田 悦子
- 副委員長 ● 菊地 利勝
- 委員 ● 鈴木 康広
- 委員 ● 押山 義則
- 委員 ● 佐々木市夫
- 委員 ● 遠藤 義夫



大玉村観光キャラクター「たまちゃん」